

令和3年度全国高等学校総合体育大会
九州ブロック代表決定大会



期日：6月19日（土）

場所：長崎県立総合体育館

文責：長崎県高体連卓球専門部 専門委員長
長崎県立長崎鶴洋高等学校 野口 隆

全九州高等学校体育大会が、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、令和2年度、令和3年度と2年連続で中止となった。令和3年度は、全国高等学校総合体育大会の90周年の年で、卓球競技では、すでに決定している各県1位の学校以外に、各ブロックから代表を1校出すことができるため、同日程で開催予定であった、ブロック代表決定のトーナメント戦のみを実施した。

この大会は、2週間前からの健康調査票の作成をはじめ、入館時の検温、こまめな手指消毒、換気の徹底、審判員のフェイスガードの着用など、あらゆる感染対策を講じながらの開催となった。

まず、6/18(金)の監督会議後に、男女それぞれ抽選を行い、組み合わせを決定した。試合は、6/19(土)の9:20開始とした。男子1回戦の結果は、鹿児島南0-3北陵、東福岡3-1那覇、開新3-2宮崎商業、瓊浦1-3別府溝部学園、2回戦は、北陵3-1東福岡、開新3-1別府溝部学園、最後の決定戦は、北陵3-1開新となり、見事に佐賀県の北陵高校が全国への切符を手にした。

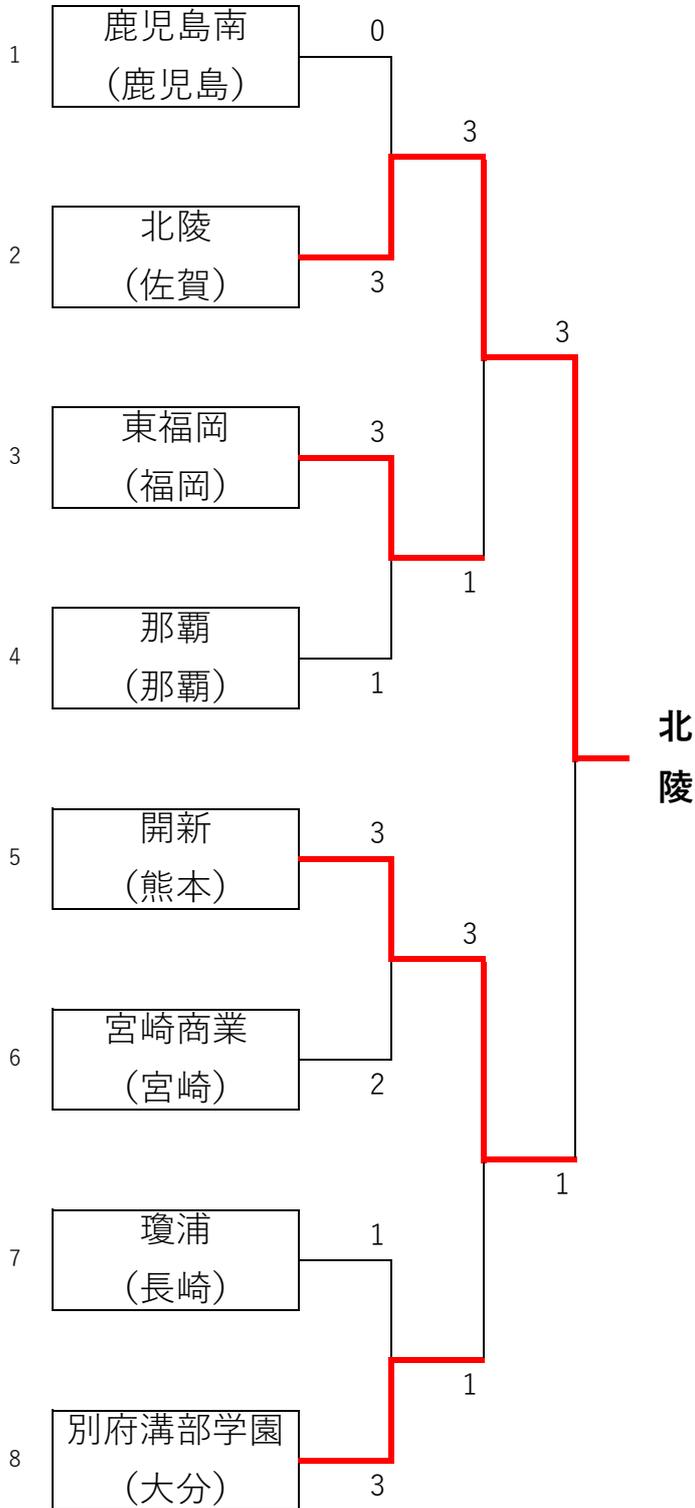
女子1回戦の結果は、宮崎商業0-3福岡女学院、開新2-3鹿児島女子、那覇0-3別府溝部学園、長崎女子商業1-3佐賀商業、2回戦は、福岡女学院3-2鹿児島女子、別府溝部学園3-1佐賀商業、決定戦は、福岡女学院3-1別府溝部学園となり、こちらは福岡県の福岡女学院高校が全国への切符を手にした。

無観客で、選手たちも声を出すことはできず、また、応援も拍手のみという中で頑張った選手たちを讃えたいという反面、普段の試合の中で、周りの声援や自分自身に気合いを入れるための声出しが試合を盛り上げたり、試合の流れを変えたりするためにはとても重要だと言うことを改めて思い知らされた大会であった。

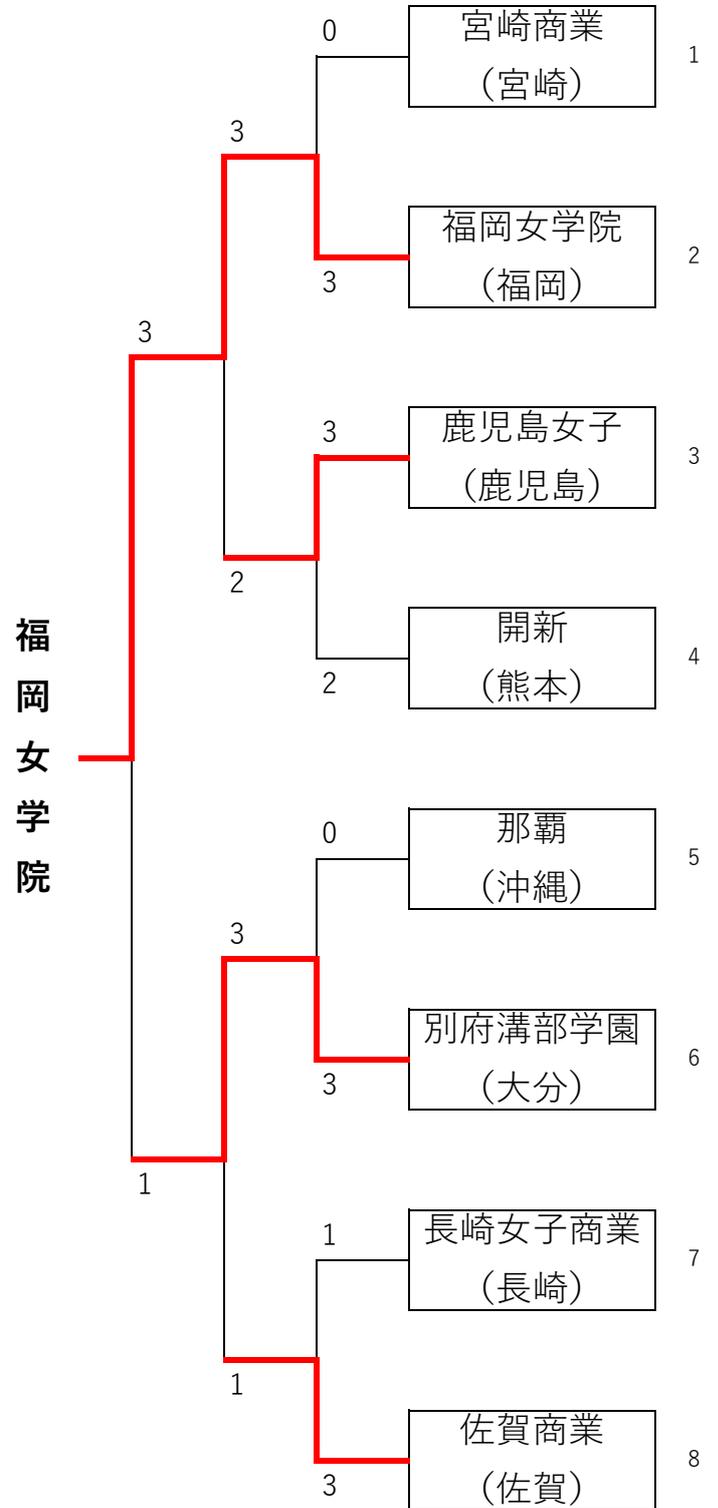
令和3年度 全国高等学校総合体育大会卓球競技 九州ブロック代表決定トーナメント

R3.6.19(土) 長崎県立総合体育館

< 男子 >



< 女子 >



北陵

福岡女学院

① 男子優勝 (佐賀 北陵)



② 男子優勝 (佐賀 北陵)



③ 女子優勝 (福岡 福岡女学院)



④ 女子優勝 (福岡 福岡女学院)



⑤ 開会 1



⑥ 開会 2



⑦ 男子決勝 1



⑧ 男子決勝 2

